

とっておきの子育ての話

保育者からの
メッセージ

子どもと一緒に
絵本の世界へ
(1歳～2歳編)

大人の言うことがわかるようになり、かくとくどんどん言葉を獲得していく時期です。好奇心もおっせい旺盛で「これは？」と、大人への問いかけも増えてきます。

お気に入りの一冊を見つけて、お子さんと一緒に絵本を楽しんでみませんか？



平成18年1月編集・発行
平成21年1月改訂
平成24年9月改訂
令和8年3月改訂
仙台市こども若者局
幼稚園・保育部 運営支援課





スマホと絵本、どう違う？



*スマホやタブレット、テレビ

たくさんの情報が瞬時に、次々と手に入りますが、スマホやタブレット等からの発信を受けるだけになりがちで、双方向のコミュニケーションを学ぶことはむずかしいです。

*絵本

音も出ないし絵も動かないからこそ、頭の中で「絵を動かし」「音を紡ぎ出し」ページに描かれていない「余白の場面を想像する」楽しさを味わえます。物語を通じた体験は、人間関係を紡いでいく上での基礎となります。読んでくれる身近な大人に、心も体も抱きとめられ、満たされます。

どんな絵本を選ぶ？

お子さんの好きな物

食べ物や乗り物、動物など
身近なものが描かれている絵本

簡単なストーリー

くり返しのある絵本や、
単純なストーリー展開の絵本



迷ったときは…

ロングセラーの絵本を選んでみましょう。こどもの頃に好きだった絵本などから選んでみるのもいいですね。

☆お子さんの「これ読んで！」は、「一緒にいたいよ」という思いを含んでいます。一旦手を止めて、お子さんを膝に抱き、絵本を通して親子の絆を深める時間にしてみてください。

<1~2歳のお子さんに人気の絵本>

<あっぷっぷ>

中川ひろたか／文
村上康成／絵
ひかりのくに

動物たちやお母さんとらめっこ。みんな思わず「ぷははは！」「もっかいやって」とくり返し遊べる絵本です。

<おべんどうバス>

真珠まりこ／作・絵
ひさかたチャイルド



ハンバーグくん、えびフライちゃん、たまご焼きさんなど、お弁当の人気者たちが次々バスに乗り込みます。「はい！」とお返事のまねっこが楽しいですよ。

<きんぎょかにけた>

五味太郎／作
福音館書店



金魚鉢から逃げ出したきんぎょは、カーテンの模様や、花の中にかくれんぼ…次はどこへ隠れたかな？「どこににげた？」「あった！」と指さしながらやり取りが楽しめます。

<くだもの>

平山和子／作
福音館書店

いちご、りんご、ばななど、まるで本物のようなみずみずしい果物が次々出てきます。「さあどうぞ」と差し出される絵に、思わず手が伸びて、食べるまねっこが楽しい絵本です。

<はらぺこあおむし>

エリック・カール／作
もりひさし／訳
偕成社

小さなあおむしが、りんごやオレンジ、チーズやサラミを次々食べて…。食べた穴が並び楽しい仕掛け絵本です。

<おひげがそろそろ>

ささきまき／作
福音館書店



出てくる、出てくる…色んなところから、愉快なおひげがそろそろと！思いがけない所から次々とび出して、さて誰を誘いにいくのかな？